

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月9日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 灰充填装置(A) 灰ドラム缶搬送コンベアの動作不良について】 雑固体廃棄物焼却設備にて灰をドラム缶に充填しコンベアで搬送中、特定の箇所にてセンサーが反応しドラム缶が上下に移動する箇所がある。 その箇所でコンベアが上下に動作を繰り返し、次工程への移行不良を確認。 自動運転から手動運転に切り替えを試みたが、次工程への移行不良継続を確認。 原因としては、センサーに埃が付着し感度が弱くなったものと推定。 センサーを清掃し、通常運転可能なことを確認。</p>	GⅢ	12月3日
2	<p>【運用補助共用プール建屋 放射性廃棄物処理サンプポンプ運転記録計チャート異音発生について】 運用補助共用プール建屋 放射性廃棄物処理サンプポンプ運転記録計チャートのインクリボン送り機構より異音が発生。 インクリボンの脱着を二回実施し、改善されないことを確認。 異音は発生するも記録に支障なし。 今後、記録計の交換を予定。</p>	GⅢ	12月4日
3	<p>【企業棟における作業員の水晶体等価線量ガラスバッジの紛失について】 Eエリアタンク解体作業後、作業員はサーベイのため全面マスク(水晶体等価線量ガラスバッジ付(以下、GB付))を委託員に渡し、体表面モニタを受験。 体表面モニタ受験後、サーベイが完了した全面マスク(GB付)を受け取ろうとしたが、返却棚に自分のマスクが見当たらなかった。 返却棚には、GB付ではない全面マスクが1つ残っていた。 他の作業員が全面マスクを取り違えたと思い、周辺の作業員に聞き取りをしたが、発見には至らなかった。 翌日、マスク回収業務において、当該全面マスク(GB付)発見の連絡があったことを確認。 原因は調査中。</p>	GⅢ	12月4日